

◆ 平成28年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 環境サポート埼玉

19A-09

代表者：代表理事 鈴木敏資

URL :

1. 活動が必要とされた状況

子どもたちは、環境問題をどのように受け止めているのか。自分たちの暮らしに直接結び付いた問題として、その取り組みも特別のものではなく、日常的なごく普通の行動や活動であることを意識付け、地域の水辺に親しむ姿勢を助長する中で、体験的に学習する機会を継続的に提供する必要を感じ、計画したものである。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施時期 平成28年7月28日（木）～28日（金）

参加人数 坂戸市内小学校など4～6年生 19人参加

活動内容

- ① 高麗川の水質調査（新戸口橋上流地域）
高麗川の水を採取し、パックテスト（化学的酸素要求量）により水質状況を調査するとともに、持参した家庭生活排水についてパックテストを行い、河川などに与える影響を学習
- ② 高麗川（新戸口橋周辺地域、橋下上流100m以内）に棲む小魚や底生生物の調査
調査地点での魚類、底生生物を採捕し、その生息状況を調査
- ③ 新戸口橋周辺のごみ拾い（花火くずなど）
- ④ 体験学習の成果を中心とした内容を夏休みの自由研究としてまとめる。



3. 活動の成果

暑い中、健康を害する子どももなく、無事、計画どおり実施することができ、第8回目の事業実施として、所期の成果を収めたものと評価している。参加した子どもたちの中には初めて魚とりをした子もあった。全員生き生きとしており、学習態度も活発、熱心であった。アンケート調査においても環境への関心を深めるよい結果が出ている。

この種の参加型の体験学習事業を通じて「川がき」が増えることや環境と生活との関わりについても理解を深められるので、今後も継続して実施したい。

4. 今後に残された課題

- ① 今夏は例年よりも河川流量が少なく、また、水質が悪いように見受けられ、魚が獲れるかどうか不安があったが、前日に適度の降雨があり、幸いであった。昨年は、大雨があった後のため、川の水位が例年より上がり、魚を獲る範囲が限られた。天候の影響を受けやすい事業であることに留意する必要がある。
- ② 子どもたちの考える力、達成感、満足感がさらに高まるよう、引き続き検討を加え、実施面で一層創意工夫することが欠かせない。
- ③ 事業実施の自主財源確保に努め、継続性を高めていく必要がある。